

平成22年度 第4回 地盤工学表記法委員会  
WG1 & WG2合同  
議事録（案）

日時	平成22年12月20日（月）15：00～17：10				場所	3F中会議室		
委員長兼 WG1リーダー	岸田 隆夫		委員兼 幹事	伊貝 聡司				
委員兼WG1	鈴木 直子		委員兼WG1	石井 建樹	×	委員兼WG1	杉本 隆	
委員兼WG1	福岡 秀基	×	委員兼WG1	谷 和夫		委員兼WG1	大熊 英二	×
委員兼 WG2リーダー	鈴木 明夫		委員兼WG2	久保 裕一		委員兼WG2	千葉 久志	

（ : 出席                      : 代理出席      × : 欠席                      : 未定）

議 題：

- 1．前回議事録の確認（資料-22.4.1）
  - ・原案どおり承認された。
  - ・平成23年度予算について、地盤工学用語規格化WG発足に伴い163万円（H22年度は20万円）で調整中であることが報告された。
- 2．基準部会報告（資料-22.4.2）
  - ・地盤工学用語規格化WG設立の趣意書を提出すること。
- 3．用語の定義（JIS化）について（資料-22.4.4-1～22.4.4-2）
  - ・作業方針について議論し、以下のとおり再確認した。

項目	内容
用語の定義（JIS化）の目的	地盤工学分野において、規格・基準で用いる主な用語とその定義について規定する。
準備WGの作業目的	平成23年度に発足する地盤工学用語規格化WGへ提供する候補用語リストを作成する。 最終判断は規格化WGであるため、漏れのないよう積極的に用語を抽出する。
準備WGの作業	現行のJIS規格、JGS規格より、候補用語を抽出する。
用語の抽出方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験、設計基準等に関する用語</li> <li>・地盤工学に特有な試験器具、用語（ex. モールド、ランマー、K0圧密、非排水せん断強さ）</li> <li>・試験結果（数値）に影響を与える用語（ex. 粘土、石分、土質材料）</li> </ul> 迷った場合は、積極的に用語を抽出する（抽出の段階で漏れると、検討されないまま不採用となるため） コンクリート用語（JIS A 0203）を参考にする。

- ・平成23年度に発足する地盤工学用語規格化WGのスケジュールについて、1年目は原案作成、2年目はJIS化作業の2年間で実施する方針について、確認した。
- ・地盤工学用語規格化WGメンバーについて、谷委員より以下の案が示された。

項目	内容
メンバーの選定方針	赤本、青本用語が中心となるため、赤本、青本委員会より1名ずつ参画いただく。 JIS化の経験がある人員が必要である。 日本語のセンスがある方を人選する必要がある。 女性のセンスも必要と考える。 委員のバランスは、会員のバランスと同じように民間企業中心とすべきである。
委員長候補（案）	仲本治（旧表記法委員で、用語辞典の編纂にも参画） 伊貝聡司（現表記法委員会幹事）
幹事（案）	鈴木直子（現表記法委員会委員） 山田悦子（旧事業部部員）
委員（案）	利藤房男（現青本委員会幹事） 赤本委員会は、小関先生よりご紹介いただく

- ・今後の作業として、地盤調査関係のJIS,JGSより、定義されている用語および定義することが望ましい用語の抽出を行う。
- ・作業分担、作業の整理表を作成し、各委員にmailで配布する（伊貝幹事担当）

#### 4. 標準用語（標準キーワード）について

- ・（議事なし）

#### 5. 標準用語集の出版について

- ・（議事なし）

#### 6. 用語審議「試料の乱れ」について

- ・青本委員会では、サンプリングした試料の品質レベルを定義していく動きがある。
- ・青本委員会としては、試料の乱れに関する用語について、現時点で赤本と青本で合わせる必要はないとの意見であることが報告された。

#### 7. 英文HPについて（資料-22.4.7）

- ・一次案を提出しているが、公開までに、修正可能である。
- ・谷委員、杉本委員は、修正意見を伊貝幹事に連絡すること。

#### 8. レキシコンへの対応（資料-22.4.8）

- ・表記法委員会でレキシコンの日・英対訳を実施しており、標準用語もあるため、対応可能であると考えます。
- ・レキシコンについて、前向きに取り組む方針とする。

#### 9. 新常用漢字への対応（資料-22.4.9-1～22.4.9-2）

- ・2010.11.30に常用漢字196字追加、5字削除がなされた。

- ・追加により、学会で特に定めている漢字に該当する漢字は、以下のとおりである。  
崖、亀、隙、桁、勾、痕、堆、填、汜、汎、湧
- ・削除により、関連する漢字は以下のとおりである。  
錘（重錘落下工法）
- ・基準部に対する上申書（案）を作成し、次回委員会で討議する（岸田委員長担当）。

## 10. その他

- ・特になし

## 11. 次回委員会

- ・基準部：平成 23年1月19日（水）14:00～
- ・第5回：平成23年2月28日（月）15:00～17:30（3F中会議室）

## 配布資料：

資料番号	資料
資料22-4-0	議題書
資料 22-4-1	前回議事録
資料 22-4-2	基準部議事録（案）22-4_22.11.12
資料 22-4-3-1	用語抽出について
資料 22-4-3-2	JIS用語（再抽出_候補）_集計201012220
資料 22-4-4	（欠番）
資料 22-4-5	（欠番）
資料 22-4-6	（欠番）
資料 22-4-7	JGS基準部英文HP原稿案（表記法分）
資料 22-4-8	JGS表記法当日配布資料1（レキシコンに関するmail）
資料 22-4-9-1	地盤工学用語表記のために学会で特に定める漢字音訓
資料 22-4-9-2	JGS表記法当日配布資料2（新常用漢字に関する新聞記事）